

看護部

- ・A 病院における和痛分娩の麻酔薬開始タイミングの検討についての実態調査(22-31)
- ・「精神疾患合併妊婦への早期助産師指導介入の評価」(22-32)
- ・A 病棟における個別性のあるせん妄予防策実施についての実態調査(22-25)
- ・A 病院における心臓外科術後患者の術前低栄養と術後合併症の関連(22-19)
- ・「A 病棟におけるカテーテルアブレーション治療後の大腿動脈穿刺部出血の背景と要因に関する実態調査」(22-17)

A 病院における和痛分娩の麻酔薬開始タイミングの検討についての実態調査

1. 研究対象

A 病院の産科病棟で 2016 年 1 月～2022 年 10 月の間に和痛分娩をした妊娠 37 週から 40 週の妊産婦のうちレミフェンタニルを使用し分娩に至った妊産婦。

A 病院の産科病棟で和痛分娩をサポートしたことのある助産師。

2. 研究目的・方法

和痛分娩を実施し分娩に至った症例において、カルテレビュー調査により麻酔薬の開始タイミングの実態と関連性のある要因を探り、和痛分娩に携わる助産師の麻酔薬の開始タイミングの見極めを探索します。

助産師が麻酔薬開始タイミングにおける判断基準について、どのような指標をもって分娩経過のアセスメントを実践しているのか、アンケート調査により和痛分娩の分娩期の助産の実践について把握します。

3. 研究に用いる情報の種類

A 病院の産科病棟で 2016 年 1 月～2022 年 10 月に和痛分娩をして分娩に至った電子カルテの助産記録、パルトグラム、看護記録から年齢・初産婦・経産婦・妊娠歴・分娩週数・母体基礎疾患も有無・和痛分娩希望理由・出生体重・臍帯血 Ph・妊婦の体重、身長・BMI・和痛分娩開始時(NRS 疼痛・子宮口開大・陣痛間欠・ビショップスコア)和痛分娩開始後の分娩に至るまでの時間、麻酔中止後の児娩出までの時間・レミフェンタニル(投与時間・総投与量・ボース実施回数、要求回数)分娩時出血量・分娩所要時間・分娩方法(自然経腔、吸引分娩、鉗子分娩)陣痛促進の有無・有害事象の有無・満足度)の妊産婦のデータを収集する。

4. 研究によって生じる対象者への利益・不利益及び危険性とその対応

データは本研究以外には使用せず、研究後はデータを速やかに破棄します。研究内容は関連する学会での発表や論文に投稿に使用する可能性があります。名前や個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。

5. 連絡・問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

ご本人並びに代理の方の申し出により、研究への利用を拒否することができます。

その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

三菱京都病院 看護部 西田 純子 林 知江美(責任者)

〒615-8087

京都府京都市西京区桂御所町 1 番地 TEL 075-381-2111(代)

「精神疾患合併妊婦への早期助産師指導介入の評価」

研究の対象

2020年1月～2022年12月に当院で1ヵ月健診を受けられた産科の患者さんの中で、妊娠初期～中期より当院に通院し、心療内科受診歴、カウンセラーへの相談歴がある、に該当した患者さん。

研究の目的・方法

本研究の目的は、妊婦健診での助産師面談の回数と1ヵ月健診時のエジンバラ産後うつ質問票スコアとの相互作用を調べることで、妊娠期から産後にかけて患者さんの不安の軽減につながったかどうかを明らかにすることを目的としています。上記期間の対象の患者さんのカルテよりデータ収集・分析を行い、今後の看護に活かすために研究を行っていきます。

研究に用いる情報の種類

2020年1月～2022年12月に当院で1ヵ月健診を受けられた産科の患者さんの電子カルテから、年齢、既往疾患、心療内科通院歴の有無、妊娠合併症の有無、家族背景、初診時の週数、助産師介入開始の時期、介入回数、産後1ヵ月後のエジンバラ産後うつ質問票スコアについて情報収集を行います。今回の研究に関わる者以外の閲覧は致しません。

研究によって生じる患者さんへの利益・不利益及び危険性とその対応

研究で知り得た患者さんの情報は、研究以外では使用せず、個人が特定されないよう配慮します。また、研究終了後は速やかに情報を破棄します。

連絡・問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご本人及びに代理の方のお申し出により、研究への利用を拒否することが出来ます。
その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

三菱京都病院 西堀 聖民(研究責任者)

〒615-8087

京都府京都市西京区桂御所町1番地

TEL 075-381-2111(代)

A 病棟における個別性のあるせん妄予防策実施についての実態調査

研究の対象

三菱京都病院 4 階病棟で 2022 年 4 月～7 月の間に消化器外科手術目的で入院した 70 歳以上の男女のうち、せん妄を発症した患者様

研究の目的・方法

せん妄を発症した患者様に対し、予防策が図れていたのか、図れていなかったのかを記録から分析していきます。

患者様 1 人 1 人の個別性に合った予防策を講じる必要性が分かり、看護師だけでなく、患者様が安心安全に入院生活を送れるよう本研究で明らかにしたいと考えます。

研究に用いる情報の種類

4 階病棟でカルテより、70 歳以上の消化器外科患者で実際にせん妄を発症した患者抽出し、入院時のせん妄フローチャートの記録と手術前日から術後 7 日目までの消化器外科患者のせん妄スクリーニング・ツール(DST)の記入の有無と看護記録。患者の属性(年齢、性別、診断名、せん妄の程度、既往歴、内服薬)を分析していきます。

研究によって生じる対象者への利益・不利益及び危険性とその対応

データは本研究以外には使用せず、研究後はデータを速やかに破棄します。研究内容は関連する学会での発表や論文投稿に使用する可能性があります。名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。

連絡・問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご本人並びに代理の方のお申し出により、研究への利用を拒否することが出来ます。

その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

三菱京都病院 羽瀧 花歩(研究責任者)

〒615-8087

京都府京都市西京区桂御所町 1 番地

TEL 075-381-2111(代)

A 病院における心臓外科術後患者の術前低栄養と術後合併症の関連

1.研究期間

2022年11月～2023年5月

2.研究目的

心臓外科術後に合併症が起こる患者の中で、術前の低栄養が術後合併症の発症に関連しているかを明らかにしたい。また、心臓外科手術と合併症の関連から、低栄養を見直すきっかけの働きかけにしたい。看護の目的は、術前の低栄養と術後合併症の関連から、術前の低栄養の情報をとる視野を広げ、術後管理として低栄養にも視野を広げる働きかけとする。

3.研究対象

2021年4月～2022年3月までの心臓外科手術(CABG・OPCAB・弁置換・大血管)を受けた患者

4.研究に用いる試料・情報の種類

2021年4月～2022年3月までの心臓外科手術を受けた患者を抽出。術前の情報から、年齢・性別・診断名・術式・既往歴・住まい・体重減少・食欲の低下・食事摂取量・義歯の有無・ADL・BMI・アルブミン・コリンエステラーゼ・赤色素量・亜鉛・リンパ球・総タンパク・CRP等の低栄養に該当する患者、また呼吸器合併症・循環器合併症・術後感染・消化器合併症・脳合併症・腎不全・肝不全・多臓器不全・縫合不全・せん妄等の術後合併症を発症した患者のデータを収集する。

5.外部への試料・情報の提供・公開

外部への提供等はありません。

研究で知り得た患者さんの情報は、研究以外では使用せず、個人が特定されないよう配慮します。また、研究終了後は速やかに破棄します。

連絡・問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせ下さい。又は御自身の診療情報につき開示の希望がある場合は、下記連絡先までご連絡下さい。なお、本研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出下さい。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

三菱京都病院 看護部 森 久瑠実

山田利恵(責任者)

住所:〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地 電話番号:075-381-2111(代)

「A 病棟におけるカテーテルアブレーション治療後の大腿動脈穿刺部出血の背景と要因に関する実態調査」

研究の対象

2021 年 8 月～2022 年 7 月 31 日に 5 階病棟にアブレーション治療目的で入院した患者さん

研究の目的・方法

本研究の目的は、カテーテルアブレーション後の穿刺部出血の実態を調査し、再出血のリスク要因との関係について明らかにすることを目的としています。上記期間の対象の患者様のカルテよりデータ収集・分析を行い、今後の看護に活かすために研究を行っていきます。

研究に用いる情報の種類

研究期間 2021 年 8 月 1 日～2022 年 7 月 31 日に当院 5 階病棟に入院した対象患者さんの電子カルテから年齢・性別・BMI・不整脈の種類・カテーテルアブレーションの種類・せん妄スクリーニングの該当有無・せん妄出現及び薬剤使用の有無・カテーテル室での最終活性化凝固時間・プロタミンの使用の有無・帰室～ビン除去までの時間・穿刺部再出血の有無を情報収集します。

今回の研究に関わるもの以外の閲覧は致しません。

研究によって生じる患者さんへの利益・不利益及び危険性とその対応

研究で知り得た患者さんの情報は、研究以外では使用せず、個人が特定されないよう配慮します。また、研究終了後は速やかに破棄します。

連絡・問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご本人並びに代理の方のお申し出により、研究への利用を拒否することが出来ます。

その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

三菱京都病院 澤田 京咲(研究責任者)

〒615-8087

京都府京都市西京区桂御所町 1 番地

TEL 075-381-2111(代)